

一般国道175号 整備促進に関する要望書



令和7年7月

一般国道175号整備促進期成同盟会

要 望 書

平素は、一般国道175号の整備促進に、格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本路線は、兵庫県明石市から京都府舞鶴市に至る主要幹線道路で、瀬戸内海地域と日本海地域を結ぶとともに、第二神明道路、神戸西バイパス、山陽自動車道、中国自動車道、北近畿豊岡自動車道の高規格道路5路線を相互に連絡し、産業振興や物流の効率化、救急医療施設等へのアクセス強化に欠かすことのできない重要な役割を担っています。

近年、全国各地で想定をはるかに超える甚大な災害が頻発していますが、平成30年7月豪雨では、山陽自動車道、中国自動車道をはじめ、周辺のほとんどの高規格道路が通行止めとなる中で、一般国道175号は高規格道路ネットワークを補完する広域迂回路として機能し、大変重要な役割を果たしました。

現在、神出バイパス及び西脇北バイパスの整備を着実に進めていただいております。地元では令和8年春の西脇北バイパス全線開通に向けた期待がますます高まっています。

しかしながら、中国自動車道や北近畿豊岡自動車道等と一体となって国土幹線道路ネットワークを形成し、兵庫県の基幹道路八連携軸にも位置づけられている高規格道路「東播丹波連絡道路」のうち、西脇北バイパス以北（西脇市黒田庄町から丹波市氷上地域間）は、未だルートさえ決定されていません。

本路線は、地域住民の生活や経済・社会活動を支え、加えて大規模災害時における緊急輸送道路と地域安全保障のエッセンシャルネットワークとして住民の命をつなぐ最も重要なインフラであり、地域の活性化に大きく寄与するものとして全区間の早期開通が待ち望まれております。また、この状況は「WISENET2050」が掲げる、わが国の経済成長や物流強化、地域安全保障の貢献に向けて早急に解消されなければなりません。

御当局におかれましては、当地の実情を御賢察いただきまして、下記要望項目について格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

要 望 項 目

1 予算の総額確保について

激甚化・頻発化する気象災害や切迫する南海トラフ地震への事前防災対策、橋梁や下水道など社会基盤施設の老朽化対策、人流・物流の活性化に向けた高規格道路のミッシングリンクの解消等、必要な社会基盤の整備・維持管理が、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも計画的・安定的に進められるよう、必要な予算を総額確保すること。

2 防災・減災、国土強靱化予算の活用について

能登半島地震のような地震災害が日本全国どこでも起こりうる可能性があることを認識し、その教訓を踏まえ、継続的・安定的に国土強靱化を推進できるよう、国土強靱化実施中期計画に定められた施策内容や事業規模に基づき、必要な予算・財源を通常予算に加えて別枠で確保すること。

3 個別事業の整備推進について

一般国道175号の整備については、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保し、物流生産性の向上と命をつなぐ高規格道路ネットワークの強化のため、事業中区分・調査中区分について整備を推進すること。

事業評価に当たっては、緊急医療、災害対応、企業立地等沿線地域の実情や役割を十分反映しうる総合的な評価を導入すること。

(1) 事業中区分の早期開通

ア 西脇北バイパス（西脇市） L=5.2 km：令和8年春の確実な開通に向けた整備推進

イ 神出バイパス（神戸市西区） L=5.7 km：地域課題の早期解消に向けた整備推進

(2) 調査中区分の早期事業化

高規格道路「東播丹波連絡道路」の西脇市黒田庄町から丹波市氷上地域までの区間の早期事業化に向けた速やかな「計画段階評価手続き着手」及び「ルート決定」

4 大規模災害時の体制・機能の拡充・強化

広域的な大規模自然災害時において、迅速かつ円滑な復旧等に資する、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の派遣や国による権限代行等が速やかに実施できる体制・機能の充実・強化を図ること。

令和7年7月3日

一般国道175号整備促進期成同盟会

会長 西脇市長 片山 象三

一般国道 175 号整備促進期成同盟会会員名簿

(会 員)

市 町 名	職 名	氏 名	役 職
神 戸 市	市 長	久 元 喜 造	理 事
	議 長	菅 野 吉 記	理 事
西 脇 市	市 長	片 山 象 三	会 長
	議 長	高 瀬 洋	理 事
三 木 市	市 長	仲 田 一 彦	理 事
	議 長	大 眉 均	監 事
小 野 市	市 長	蓬 萊 務	理 事
	議 長	平 田 真 実	理 事
丹 波 市	市 長	林 時 彦	副 会 長
	議 長	谷 水 雄 一	理 事
加 東 市	市 長	岩 根 正	理 事
	議 長	岸 本 眞知子	監 事

一般国道175号整備促進期成同盟会

会 長

西脇市長 片山象三

理 事

三木市長 仲田一彦

副会長

理 事

丹波市長 林 時彦

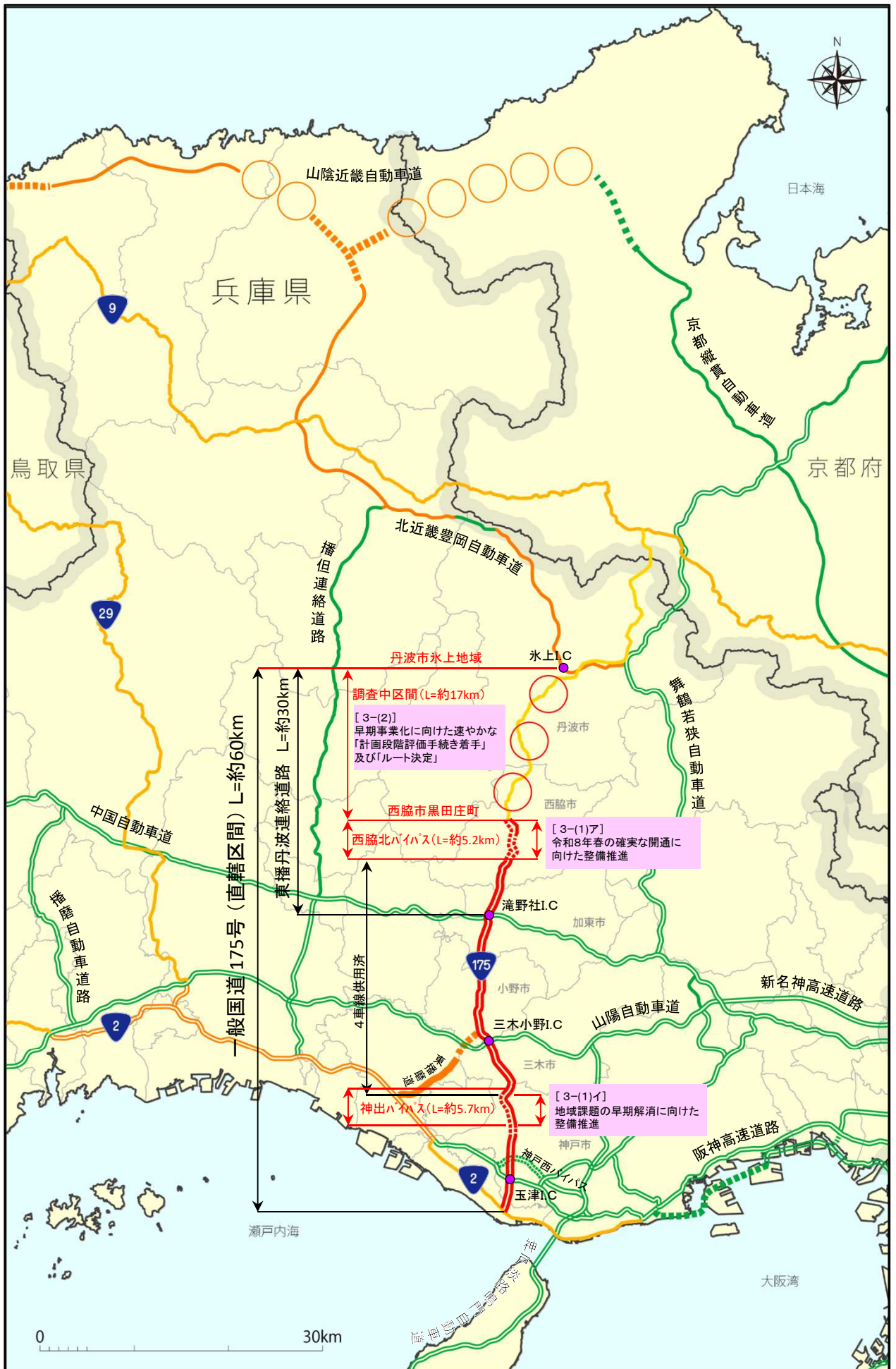
小野市長 蓬萊 務

理 事

理 事

神戸市長 久元 喜造

加東市長 岩根 正



一般国道175号 整備促進に関する要望書

7 『東播丹波連絡道路』 ◇ 太平洋と日本海を結ぶ横断軸の‘ラストピース’!

- 当該道路の一部である「西脇北バイパス」は令和8年春に完成予定。東播丹波連絡道路は唯一残る未整備区間。
- 日本海と瀬戸内海を結ぶ主要ルートが繋がることでわが国の安全保障や、地域の地方創生に大きく寄与する。

R175 ラストピース完成による国力の強化



ワイスネット WISENET2050



経済成長・物流強化

- 国土横断の広域物流網の確立
- 舞鶴港の“対岸貿易”の活性化



- 地域産業の活性化



地域安全保障のエッセンシャルネットワーク

- 南海トラフ地震・原子力災害・国防有事等に広域支援(避難・物資輸送等)を担う重要経路



国家防衛戦略上、
重要かつ注目すべき陸上ルート!

地方創生

経済圏・商機の拡大/新たな産業拠点の誘致

西脇市 高松地区産業街区



丹波市 山南工業団地

